

EUSI メールマガジン Vol. 093

「狙われた移民第2世代 欧州の「聖戦士(ジハーディスト)」」(平野雄吾)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 075】

「狙われた移民第2世代 欧州の「聖戦士(ジハーディスト)」

平野雄吾 (共同通信カイロ支局特派員)

かつて、欧州を形成する文化的要素として次の三つが語られたことがある。ギリシャ・ローマの古典古代の伝統、キリスト教、ゲルマン民族の精神。だが、欧州を語る時のキーワードは変わった。アラブ系移民・難民、イスラム教、そしてテロだ。15年11月のパリ同時多発テロ、16年3月のベルギー同時テロ...

一連のテロ容疑者の多くは、イスラム系移民家庭出身で、欧州で育った。一部はイラクやシリアの過激派組織「イスラム国」(IS)に参加、難民に紛れて欧州に戻った。「自国育ち(ホームグロウン)」のテロリストの脅威。犯罪と貧困、失業に表象される移民街がクローズアップされ、社会統合、過激派対策が欧州であらためて叫ばれている。

問題は欧州の外にはなく、内側にある。だが、その内側の闇をうまく利用し、「聖戦士(ジハーディスト)」に仕立て上げ、戦闘員やテロリストにしたのが中東のイスラム過激派だった。

パリ同時多発テロとベルギー同時テロ後、現場で取材し多くの移民街を歩いた。パリ郊外では、白昼堂々と覚醒剤取引が行われるのを目撃し、ブリュッセルでは、私自身が強盗被害にあった。

パリでもブリュッセルでも、地元行政関係者は同じ言葉を口にした。「移民たちは、この国に来ると物価の安いこの地域に住み始め、お金がたまと出て行ってしまふ。その代わりにまた貧しい移民が新しく来る。結果、この街はいつまでたっても貧しく、犯罪はなくなるらない」。

移民に同化を迫るフランスも、異文化に比較的寛容なベルギーも、どちらも同じ現実を抱えるところに問題の根深さがある。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol75.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. 駐日 EU 代表部より「欧州留学フェア 2016」のご案内が届いています
京都會場

日時: 2016年6月11日(土) 12:00-18:00

場所: キャンパスプラザ京都

東京会場

日時: 2016年6月12日(日) 13:30-19:00

場所: 明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン 2F・グローバルフロント 1F

参加: 無料・事前登録不要 (ただし事前登録された場合は全員に EU グッズを贈呈)

主催: 駐日 EU 代表部、欧州委員会教育・文化総局

共催: Campus France、仏大使館、DAAD、明大、京都市、大学コンソーシアム京都

「欧州留学フェア」では、欧州 17 カ国の大学・高等教育文化機関・大使館が合計 58 ものブースを出展し、欧州が提供する様々な留学・高等教育プログラムを紹介します。

また各ブースでの説明や紹介のみならず、欧州留学の奨学金に関するセミナーや欧州留学経験者によるパネルディスカッションが開催されます。

海外留学やヨーロッパでの勉強に憧れる皆様、ぜひ足を運んでみてください。

「欧州留学フェア」2016 公式 HP:

<http://www.ehef-japan.org/>

2014 年度「欧州留学フェア」の様子:

<http://www.euin-japan.jp/media/news/news2014/20140523/160643/>

2013 年度「欧州留学フェア」の様子:

<http://www.euin-japan.jp/media/news/news2013/20130522/143522/>

【日・EU フレンドシップウィーク】

「日・EU フレンドシップウィーク」は、文化、学術、スポーツなどの様々な交流イベントを通して、EU をよりよく知ることを目的としたプログラムです

1. パネル展示・EU クイズ「EU の言語政策 多様性の中の統合」

日時: 2016年5月18日(水)-6月3日(金)

場所: 慶應義塾大学三田メディアセンター2F・3F

主催: 慶應義塾大学 EU 情報センター

本年の展示のテーマは、「EU の言語政策～多様性の中の統合～」です。

EU には現在、28 カ国が加盟しており、24 の公用語(official language)が存在しています。それに加えて、公用語以外の言語も 60 以上存在すると言われています。

多様な人々を抱える EU は、「United in Diversity(多様性の中の統合)」というモットーを掲げています。今回の展示では、言語政策を通じて EU の文化的・教育的側面に着目し、多様な人々が生きる EU の姿とその取り組みを紹介しています。ぜひ展示スペースに足をお運びください。

<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/eu/friendship.html>

【EU に関する新刊紹介】

橋本伸也『記憶の政治 ヨーロッパの歴史認識紛争』

(岩波書店、2016年4月27日刊行)

<https://www.iwanami.co.jp/.BOOKS/06/0/0611240.html>

本書の著者である橋本伸也先生より、本書のご紹介を頂きました。

エストニア・ラトヴィアという小国を扱う本書の背後にある問いかけは、ヨーロッパ統合の進展とともにトラウマ的過去を克服し和解の進んだヨーロッパと比して、近い過去の記憶がいまも諸国家と人びとを引き裂いているアジア、という漠然としたイメージにいかほどの妥当性があるのか、であった。

「ヨーロッパ統合の進展」自体がいまでは過去の夢と化したから、問いの前提が崩れたようにも見えるが、とはいえこうした単純な対照が広く流通したことは確かだし、いまもイメージが消えたわけではない。これにたいして、EU 東方拡大は和解を促進したわけではなく、むしろ歴史認識をめぐる深刻な対立を惹起し、現下の複雑な国際関係を構成する一因となったというのが本書から得られる見通しである。

ソ連からの独立回復を達成した両国は、大量に抱えたロシア語話者住民処遇をめぐるEU など欧州国際機関から厳しい対応を迫られた。争点化したのは、国籍付与、言語法、母語教育機会など、欧州の価値の中核たる人権にかかわる事項である。これらの解決はEU 加盟の条件だったから、両国はやむなく圧力に従ったが、これはナチとスターリン体制の犠牲者としての自己意識と軋みを呼び、ナショナルな気分が亢進させられた。

EU 加盟達成と大戦終結 60 周年を転機に、バルト・中東欧諸国は積極的な歴史・記憶政治／外交に踏み出した。EU 創設神話に由来する「戦勝 60 周年」を寿ぐことを拒絶したのだ。欧州議会決議「ヨーロッパの未来--第二次世界大戦後 60 周年」は、現代史認識の見直しを迫られたEU の厄介な立場をよく示している。

歴史認識の見直しは、EU だけではなくCOE と欧州人権裁判所、OSCE などの場で激しい論議を呼び、ファシズムへの勝利と欧州解放への貢献を国家アイデンティティの中核に据えたロシアの「大祖国戦争」史観との対立を激化させた。ロシアはエストニア・ラトヴィアを「ファシスト国家」呼ばわりするだけでなく、両国などに譲歩的な欧州国際機関にも激しい非難を向けた。そうしたなかで陣容を整えられたロシアの歴史・記憶政治は、ウクライナ危機を経てますます強化され、いまでは世界規模の展開を見せている。むろん、日本もその射程に含まれている。『記憶の政治』が描いたのは、ヨーロッパの歴史認識問題をめぐるこのような刺々しい光景なのである。

橋本伸也 (関西学院大学文学部教授)

【EU に関するニュース】

2016年5月2日 ECB、4月資産購入額は852億ユーロで最高額。3月理事会で資産購入月額800億ユーロに拡大

2016年5月3日 安倍首相訪欧中、ブリュッセルで日・EU 首脳会談。EPA・SPA 早期合意やサミット準備等協議

2016年5月3日 欧州委員会、2016年春季経済見通し。失業・インフレ・英国民投票等の不確実性で下方修正

2016年5月3日 モゲリーニ上級代表、世界報道自由デーに寄せ、表現の自由に関するEU 人権指針を謳う声明

2016年5月4日 欧州委員会、欧州共通庇護制度改革案提示。ダブリン・システム改革やEU 庇護機関創設など

2016年5月4日 欧州委員会、EU・トルコ合意に基づき、トルコ国民のビザ免除を提案。6月中の決定目指す

2016年5月4日 欧州委員会、独などシェンゲン圏5カ国に、昨年からの一時的な国境管理措置の撤廃を勧告

2016年5月4日 第7回EU・米エネルギー理事会、エネルギー安全保障やクリーン・エネ転換協力など協議

- 2016年5月4日 ECB理事会、組織犯罪による悪用の懸念から500ユーロ紙幣の発行中止を決定
 2016年5月4日 駐中EU代表部、中国の「外国NGO国内活動管理法」(4月28日成立)に対して懸念の声明
 2016年5月4日 Eurostat、3月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏19カ国前月比-0.5%、EU28カ国同-0.7%
 2016年5月4日 スカパロッティ米陸軍大将、NATO欧州連合軍最高司令官(SACEUR)に就任
 2016年5月5日 モグリーニ上級代表、安定化・連合協定発効後初のコソボ訪問。首相らと会見や議会演説
 2016年5月5日 EUとの難民問題の交渉を担ったダウトオール・トルコ首相、エルドアン大統領と対立し辞任
 2016年5月5日 安倍首相訪欧中、ロンドンで日英首脳会談。英EU残留を望む旨やEPA・SPA合意目指すと
 言及
 2016年5月5日 英統一地方選挙、ロンドン市長にサディク・カーン氏当選、スコットランドでは労働党敗北
 2016年5月7日 EU報道官、ベラルーシにおける死刑執行に対する憂慮ならびに執行停止導入を求める声明
 2016年5月8日 ギリシャ議会、EU・IMFからの融資に必要な税制・年金改革を含む財政構造改革法案を可決
 2016年5月9日 ヨーロッパ・デー。1950年5月9日シューマン仏外相「シューマン・プラン」発表より66年
 2016年5月9日 ユーログループ(ユーロ圏財務相会合)、ギリシャでの改革進捗を歓迎、今月中の合意目指す
 2016年5月10日 モグリーニ上級代表ら、ボスニア・ヘルツェゴビナのズビズディッチ議長と改革進捗協議
 2016年5月10日 英国立経済社会研究所(NIESR)、英EU離脱の経済的影響はGDPや為替等で甚大な衝
 撃と警告
 2016年5月10日 台湾で台北地下鉄通り魔殺人犯に死刑執行。5月12日、EU、死刑執行停止導入求める声
 明
 2016年5月11日 欧州委員会、長江和記実業のテレフォニカ英国法人買収を競争阻害の懸念により認可せず
 2016年5月11日 オズボーン英財務相、英EU離脱なら英中銀はインフレと成長鈍化の舵取り困難と議会答弁
 2016年5月11-13日 EUと中国、災害危機管理計画の一環で、初の市民保護訓練を上海化学工業区にて挙
 行
 2016年5月12日 EU外務理事会、移民・開発問題、投資に関する欧州のコンセンサス、アフガン問題を協議
 2016年5月12日 カーニー英中銀総裁、成長率見通しを下方修正、英EU離脱の場合には景気減速と言及
 2016年5月12日 Eurostat、3月鉱工業生産(季節調整済)はユーロ圏19カ国前月比-0.8%、EU28カ国同-0.5%
 2016年5月12日 欧州議会、中国が国内経済改革を断行せぬ限り、市場経済地位認定反対との決議を可決
 2016年5月12-17日 ヴェツァ欧州委員(環境・海事・漁業担当)来日、G7環境大臣会合出席及び東京で講演
 2016年5月12日 EU政治安全保障委員会、地中海EU海軍部隊の人身取引取締「ソフィア作戦」強化で合意
 2016年5月13日 IMF、英経済に関する年次報告。英EU離脱なら英中銀は通貨スワップ活用の可能性に言
 及
 2016年5月13-18日 ナヴラチチ欧州委員(教育担当)来日、G7教育大臣会合出席、日欧間教育協力謳う声明
 2016年5月14日 EU及びアフリカ連合(AU)、地域安全保障サミット開催。北アフリカのテロ対策実施等協議
 2016年5月15-18日 モエダス欧州委員(研究・科学・イノベーション担当)来日、G7科学技術大臣会合出席

【編集後記】

安倍総理は、大型連休期間中、G7伊勢志摩サミットでの政策協調議論を進めるため欧州諸国を歴訪しました。サミットの根回しに動くのは通常は経済担当の外務審議官であり、いくら日本での開催とはいえ、また政治的な意味を含んでいるからといって、総理自らが事前に各国を訪れるのは極めて異例のことだと思われま

す。ポイントはG7諸国による景気浮揚のための財政出動という経済政策の協調にあったわけですが、残念ながら安倍総理による説得の結果は思わしくなかったようです。イタリアなど一定の理解を示した国もあったようですが、やはりドイツが首をタテに振らなかったことが大きかったと思われま

す。ドイツは比較的財政に余裕があることから、ドイツへの期待も大きかったのですが、ショイブレ財務相は「金融・財政・構造政策の中では構造政策が決定的に重要である」とまで言っています。

欧州の現在の状況として、移民・難民政策への負担がドイツに重くのしかかっ

ていることは事実ですが、それと同時に、やはりドイツにおいてはその歴史的

な背景からも、健全な財政金融政策、市場経済と社会政策とのバランスなど安定した経済運営が強く求められているように思われます。その主張はある意味共通の感覚として、政治家はもとより国民の間にも深く浸透しているのかもしれない。

英国の国民投票をひかえ、EUの結束を重視する欧州諸国は、結局はドイツに同調していくことになるのではないのでしょうか。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

現在、研究報告のため韓国に来ています。ソウルに来たのは1991年夏以来実に25年ぶりのことですが、前回来た子供の頃と比べて街は大きく変貌した気がします。当時は冷戦終結直後で韓国が国連に加盟する直前のことであり、またソウル五輪開催から3年後、ロッテワールドがオープンしてから2年後ということもあって、街はおおきく開発途上にあるというように感じられました。

滞在中に建国大学校と延世大学校という2つの大学を訪れましたが、どちらもソウルの街中にありながら巨大なキャンパスを誇り、学生たちの持つ若い熱気をひしひしと感じました。いずれも医学部や工学部や農学部(バイオテクノロジー)などの学部の建物が正門付近に大きく建てられており、このような開発研究型の学部に入力していることが伝わってきました。案内して下さった先生方に聞くと、「これは裏を返せば理系重視で文系軽視であり、日本で話題になっている文系廃止論などは韓国ではもうすでに始まっている現実ですよ」と言われたのが印象的でした。

他方で、25年前から数多くの出来事が起こりながらまだ変わっていない現実を観に行く機会もありました。滞在中に板門店を訪れましたが、韓国側から非武装地帯(DMZ)に入る前線のキャンプ・ボニファスから板門店に行く途中に、視界の向こうに北朝鮮の旗が見えたときは、こんなすぐ近くに彼らはいらんだなど思わざるを得ませんでした。

かつて欧州でも、ベルリンなどは冷戦の最前線と呼ばれてすぐ近くにもう一つのドイツがあり、民族や国家が分断されていたものの冷戦終結とともに統一されました。翻って朝鮮半島では現在も分断状態が続いたままであり、戦前の韓国併合などの歴史を持つ隣国の我々にとっても大いに考えさせられる滞在でした。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
